



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 魚力  
 コード番号 7596 URL <http://www.uoriki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 尾後 貴 隆  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 042-525-5600

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,485	1.5	667	△10.3	659	△19.0	478	△23.3
29年3月期第3四半期	20,179	△10.9	744	△25.6	814	△28.7	623	△27.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 636百万円 (△14.1%) 29年3月期第3四半期 741百万円 (29.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	34.76	—
29年3月期第3四半期	45.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	17,608	14,139	80.2	1,026.36
29年3月期	16,915	14,025	82.8	1,018.21

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,114百万円 29年3月期 14,002百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	18.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	5.7	870	△13.4	970	△9.0	750	0.5	54.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	14,620,000 株	29年3月期	14,620,000 株
30年3月期3Q	868,063 株	29年3月期	868,063 株
30年3月期3Q	13,751,937 株	29年3月期3Q	13,848,338 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、アジア・米国などに向けた輸出の伸びや、概して手元キャッシュ・フローが潤沢な企業による設備投資の拡大を牽引役として緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、朝鮮半島情勢の緊迫化などの地政学リスク、米国の保護主義的な動き、中国の景気失速懸念など不透明な海外情勢、また、人手不足の深刻化による一部業種における供給制約の発生といった景気下振れリスクが懸念される状況であります。

加えて、雇用情勢の改善は継続し個人消費は緩やかに持ち直しているものの、個人所得の伸びは引き続き企業業績の拡大に比して力強さを欠くため、生鮮食品はじめ食品全般の低価格志向や日常的支出における節約志向は依然として根強いものがあります。

一方、水産業界におきましては、国内での魚離れの進行、多くの大衆魚の不漁、海外における魚食の拡大による仕入価格の上昇など、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような厳しい経営環境の中、当社グループにおきましては、経営目標として「“魚力ブランド” 確立への挑戦」を掲げ、強い魚力の復活に向けて、各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

この間、小売事業で8店舗を出店する一方、経営資源の効率化を図るため2店舗を退店し、当第3四半期連結会計期間末の営業店舗数は81店舗となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は204億85百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は6億67百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益は6億59百万円（前年同期比19.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億78百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①小売事業

小売事業では、上半期中心にアニサキス食中毒に関する報道の影響を受けたこと、また、サンマなど旬の生魚が不漁となるケースが多くなっていることなどから苦戦を強いられておりますが、11月以降、穏やかな天候に恵まれる中、本まぐろなどの拡販が奏功し、また、クリスマスから歳末にかけての商戦も概して堅調に推移したことなどにより盛り返した結果、当第3四半期連結累計期間における既存店舗の売上高は対前年同期比2.6%の減少となりました。

新店は、平成29年4月にJR総武線本八幡駅に隣接する「シャポー本八幡」内に「本八幡店」（千葉県市川市）、国道16号線ロードサイドに立地する「島忠ホームズ相模原店」1階「スマイルワン・生鮮館相模原古淵店」内に「魚力市場相模原店」（神奈川県相模原市）、9月に名古屋市中心部、納屋橋エリアの複合施設「テラッセ納屋橋」の食品スーパー「ラ フーズコア納屋橋」内に「名古屋納屋橋店」（愛知県名古屋市）、10月に新宿駅に隣接する「小田急百貨店」内に「寿司ランド新宿店」（東京都新宿区）、JR総武線津田沼駅に隣接する「津田沼パルコ」内に「津田沼パルコ店」（千葉県船橋市）、JR外房線鎌取駅に隣接する「ゆみ〜る鎌取ショッピングセンター」内に「鎌取店」（千葉県千葉市）、JR京浜東北線大森駅に隣接する「アトレ大森」地階「東急ストア」内に「海鮮魚力大森店」（東京都大田区）、11月にJR中央線国分寺駅に隣接する「セレオ国分寺」内に「海鮮魚力国分寺店」（東京都国分寺市）を開店しております。

一方、平成29年10月に経営資源の効率化を図るため「Sushi力蔵舞浜店」（千葉県浦安市）を、12月にディベロPPER施設の閉鎖に伴い「魚力市場四街道店」（千葉県四街道市）を退店しております。

この結果、売上高は188億36百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は7億44百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

#### ②飲食事業

飲食事業では、売上高は前期新店の増収効果により増加いたしました。また、効率的な店舗運営に努めるとともに、新業態として前期出店した「築地魚力」については、店舗運営体制の確立に取り組みました。

この結果、売上高は6億25百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は8百万円（前年同期比340.9%増）となりました。

#### ③卸売事業

卸売事業では、子会社の株式会社大田魚力は外食チェーンを中心とした取引先を専門とし売上高は4億81百万円、当社は前期より国内スーパーマーケットへの卸売事業を大田魚力から引き継いでおり、売上高は5億円となりました。

平成28年4月に設立した合弁会社の株式会社シーフードワークスは、高鮮度凍結魚の販売をはじめ事業を拡大し、売上高は4億17百万円となりました。

しかしながら、他社との競合や仕入価格の上昇等により取引環境は厳しさを増しており、この結果、グループ全体の卸売事業の売上高は9億74百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は2百万円（前年同期比86.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は89億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億87百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が13億16百万円増加したことによるものであります。固定資産は86億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億94百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が1億80百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は176億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億93百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は32億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億41百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6億97百万円増加したことによるものであります。固定負債は2億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が60百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、34億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億79百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は141億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億14百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が1億62百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.2%（前連結会計年度末は82.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,797,366	5,298,804
受取手形及び売掛金	1,865,228	3,181,272
有価証券	40,000	—
商品及び製品	138,087	330,269
原材料及び貯蔵品	6,337	6,944
その他	937,099	154,806
流動資産合計	7,784,119	8,972,097
固定資産		
有形固定資産	1,407,058	1,510,688
無形固定資産	27,564	17,530
投資その他の資産		
投資有価証券	5,893,899	5,766,141
その他	1,802,617	1,342,029
投資その他の資産合計	7,696,517	7,108,171
固定資産合計	9,131,141	8,636,390
資産合計	16,915,260	17,608,487
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,179,111	1,876,673
未払法人税等	295,575	18,677
賞与引当金	134,126	71,903
その他	1,007,686	1,290,777
流動負債合計	2,616,499	3,258,030
固定負債		
退職給付に係る負債	231,470	170,524
その他	42,000	40,500
固定負債合計	273,470	211,024
負債合計	2,889,970	3,469,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,448,673	1,448,673
利益剰余金	12,488,083	12,443,572
自己株式	△1,251,503	△1,251,503
株主資本合計	14,248,873	14,204,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49,410	112,710
土地再評価差額金	△260,113	△260,113
為替換算調整勘定	17,111	19,267
退職給付に係る調整累計額	45,855	38,248
その他の包括利益累計額合計	△246,557	△89,887
非支配株主持分	22,973	24,956
純資産合計	14,025,289	14,139,432
負債純資産合計	16,915,260	17,608,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	20,179,566	20,485,351
売上原価	12,036,137	12,279,134
売上総利益	8,143,428	8,206,217
販売費及び一般管理費	7,398,879	7,538,698
営業利益	744,549	667,518
営業外収益		
受取利息	26,835	42,516
受取配当金	45,490	55,026
不動産賃貸料	8,010	771
為替差益	28,121	8,507
その他	19,843	20,341
営業外収益合計	128,301	127,163
営業外費用		
自己株式取得費用	1,542	-
持分法による投資損失	31,962	133,950
不動産賃貸費用	6,058	1,049
土壌処理費用	18,900	-
営業外費用合計	58,463	135,000
経常利益	814,386	659,682
特別利益		
固定資産売却益	10	54,008
投資有価証券売却益	143,836	86,690
持分変動利益	5,626	-
新株予約権戻入益	191	-
特別利益合計	149,664	140,699
特別損失		
固定資産除却損	748	1,103
賃貸借契約解約損	14,108	-
特別損失合計	14,856	1,103
税金等調整前四半期純利益	949,194	799,278
法人税、住民税及び事業税	296,911	160,069
法人税等調整額	35,029	159,162
法人税等合計	331,940	319,232
四半期純利益	617,253	480,046
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,219	1,983
親会社株主に帰属する四半期純利益	623,473	478,062

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	617,253	480,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,782	162,121
為替換算調整勘定	△11,453	—
退職給付に係る調整額	162,102	△7,607
持分法適用会社に対する持分相当額	9,306	2,156
その他の包括利益合計	124,172	156,670
四半期包括利益	741,426	636,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	747,646	634,733
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,219	1,983



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	18,649,191	520,347	961,291	20,130,830	48,735	20,179,566	—	20,179,566
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	197,204	197,204	13,950	211,154	△211,154	—
計	18,649,191	520,347	1,158,496	20,328,035	62,685	20,390,720	△211,154	20,179,566
セグメント利益	812,868	1,901	15,754	830,524	24,806	855,330	△110,781	744,549

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。  
 2. セグメント利益の調整額△110,781千円には、セグメント間取引消去△13,894千円及び各報告セグメントに  
 配分していない全社費用△96,886千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理  
 部門に係る費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	18,836,177	625,212	974,344	20,435,734	49,616	20,485,351	—	20,485,351
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	360,781	360,781	13,950	374,731	△374,731	—
計	18,836,177	625,212	1,335,125	20,796,516	63,566	20,860,082	△374,731	20,485,351
セグメント利益	744,596	8,385	2,102	755,084	25,077	780,162	△112,643	667,518

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。  
 2. セグメント利益の調整額△112,643千円には、セグメント間取引消去△17,436千円及び各報告セグメントに  
 配分していない全社費用△95,206千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理  
 部門に係る費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。